

## 第 16 回 議会改革推進特別委員会記録

令和 4 年 12 月 22 日 (木)

16 時 00 分 ～16 時 17 分

全 員 協 議 会 室

- 【委 員】 牛尾委員長、西田副委員長  
足立委員、村武委員、小川委員、佐々木委員、田畑委員
- 【委員外】
- 【議長団】 笹田議長
- 【事務局】 河上局長、下間書記
- 

### 議 題

1 行政視察の実施について

2 その他

○次回開催 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 全員協議会室

【議事の経過】

(開議 16時00分)

牛尾委員長 | 第16回議会改革推進特別委員会を開会する。議題に沿って審議に入りたい。

**議題1 行政視察の実施について**

牛尾委員長 | 視察項目、質問事項を本日中にまとめたい。これから順番に言っていたきたい。松江市から順にお願いする。ホワイトボードに記載していきたい。

小川委員 | 1点目は、条例制定の年間の目標があるかどうか。出されていた例は自転車の安全利用の条例であったが、それ以降、新たな条例を策定する検討がされているか。また課題があるか。

足立委員 | 2市1町に共通する項目であるが、本日の研修でもあったように政務活動費について、各自治体の金額並びにそこに至った経緯も含めて知りたい。金額に至った経緯など、実情を伺いたい。

下間書記 | 今、掲げている調査項目を提示して受けていただいている。追加の調査項目となるのでお願いをしてみる。

足立委員 | では、その他の項目の際に聞くことにする。

田畑委員 | いずれも最後にその他があるということか。

下間書記 | はい。そこで回答できる範囲のことにはなるが。

西田副委員長 | 政策提言書の提出ということがあるが、先ほどの研修でも予算は修正動議を出すのが当たり前みたいなことを言われたが、政策提言書の具体的な提出タイミング等について伺いたい。

牛尾委員長 | 私は提出した資料に、予算の分科会の公開をあげているが、それはそれでよいか。予算特別委員会を予算常任委員会に変更されたのだが、決算特別委員会はそのままである。その常任委員会化はどのようなかというのも入れてほしい。ほかにはないか。ないようなので、続いて津山市をお願いする。

西田副委員長 | 電子採決システム導入の経緯と予算などについて伺いたい。

牛尾委員長 | 市議会ラジオの市民の評価、3市議会交流会議の成果について伺いたい。

小川委員 | 電子採決システムは本会議だけの運用なのかと思った。委員会については導入していないのかということ。ホームページには賛否の状況は、電子採決システムに基いてなのかどうかということが少し細かいが知りたい。

牛尾委員長 | ほかにないか。ないようなので美咲町をお願いする。私は5項目提出している。1. 議会アンバサダーのねらい、2. 政策研修会の目的、3. ボランティア養成講座への議会参加のねらい、4. 九州大学准教授を招いての研修の意図、5. 学科長や学生を迎えての研修の目的という五つを出して

西田副委員長

いる。

具体的に美作大学や短期大学との交流の中でどのくらいの学生、ボリュームで連携しているのか。年間の回数や内容などについて伺いたい。

村武委員

美作大学との連携であるが、ボリュームもだが、そもそもの仕組み。どのような仕組みで議会と連携しているか。

牛尾委員長

包括協定連携の中身ということだと思います。

小川委員

きっかけがゼミ生と研修会であるとあった。もしかしたら、それまでにもパートナーシップ協定を結べる素地、つながりがあったのかということを知りたい。また、浜田にも大学があるが、大学があるまちとしての市民の意識が定着しているから包括協定を結ぶようなことができていいのか、そういった土壌があるのかを伺いたい。

牛尾委員長

短大ができる前にここに行ったことがある。マインド醸成等を調べようということです。ずいぶん前に行ったことがある。そのほかにあるか。

下間書記

もちろん行ってから幾らでも質問はできる。浜田市議会に視察に来られる場合も同じであるが、事前に質問事項をいただいと、そこを重点に説明ができる。そのために事前に質問を出すというものである。

牛尾委員長

相手もそのほうが楽なはずだ。

下間書記

はい。視察の来られる方が知りたい内容を準備して答えることができる。できれば年内に送ってほしいと言われている。

牛尾委員長

今日質問がまとまり送ると相手も助かる。ということでほかにはないか。無理に今、絞り出す必要はない。向こうに行って聞けばよい。

議長からこの視察に同行させてほしいということがあった。皆よろしいか。

( 「はい」という声あり )

出張であるので、視察報告書、視察レポートを作成する。どのようにするか。3市行くので、それぞれ担当するか。

田畑委員

小川委員が松江、村武委員が津山、私が美咲でよい。

牛尾委員長

そのとおりでよいか。

( 「はい」という声あり )

では、お願いします。

小川委員

作成の仕方であるが、所感はそれぞれが書くということか。そして中身の部分について責任を持って書くということか。

下間書記

所感については、視察終了後に1週間をめぐり3市町それぞれについて書いて送ってもらう。今、配信したのが前回の大津市議会の時の視察報告書の様式である。表側に視察日時や調査項目を記入し、裏面に調査の概要ということで、(1)視察目的、(2)視察先の概要、(3)視察の内容を今でいうと各担当者につくってもらうというイメージなのかと思う。そして各委員の所感はメールで送付してもらったら挿入する。委員会の考察については、委員会を開催して、こういうところがよかったので、今後生かしていこうとか委員会としての考察を考えていく流れかと思う。

牛尾委員長 理解した。今のような流れでやりたいと思う。できれば、その後作成するレポートも3人でチームをつくってやっていただければと思うがいかが。全員協議会で説明するものだが。

村武委員 この前にみたいな感じか。それをいつするのか。

牛尾委員長 全員協議会ということだが。

下間書記 委員会の考察ができ上がってのことなので、一番早いところだと2月7日の全員協議会、その後だと2月24日である。それまでに委員会を開催して考察を考える必要がある。7日は少し厳しいかもしれないが、早いほうが忘れなくて済むとは思っている。まとめるのは早目にしたほうがよいと思う。

村武委員 私は議会BCPの際に作成したので、どなたか他の人をお願いしたい。

牛尾委員長 それでは、比較的そういうことの得意な足立委員にお願いできないだろうか。

下間書記 委員会報告書ができあがれば、視察レポートは報告書の内容をコピーして貼りつけるイメージなので、委員会報告書がしっかりできればと思う。

村武委員 その委員会報告書をしっかりつくるのは皆でということだ。

足立委員 はい。ではその後にパワーポイントにすればよいということで。

牛尾委員長 書記、ほかにあるか。

下間書記 行程の案を配信した。1月17日の朝7時30分に市役所出発としている。雪の状態がわからないので、少し早目に計画している。天候が大丈夫であれば時間を変更する。時間は流動的と考えてほしい。10時から12時まで松江市。どこかで昼食をとって、3時から5時に津山市。18日は9時から11時まで美咲町。終了後に昼食をとって帰るという行程である。昼食会場等については別途説明させていただく。

牛尾委員長 本日のところはこれでよいか。

( 「はい」という声あり )

では、以上で第16回議会改革推進特別委員会を終了する。

(閉議 16時17分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 ㊟